

# 株式会社ツルハホールディングス

株式会社ツルハホールディングス

2021年5月期第1四半期決算説明会

2020年9月14日

## イベント概要

---

[企業名]	株式会社ツルハホールディングス		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2021年5月期第1四半期決算説明会		
[決算期]	2020年度 第1四半期		
[日程]	2020年9月14日		
[ページ数]	31		
[時間]	15:30 - 16:30 (合計: 60分、登壇: 19分、質疑応答: 41分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	2名		
	執行役員管理本部長	村上 誠	(以下、村上)
	経理部 IR グループリーダー	山崎 拓也	(以下、山崎)

---

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



## 登壇

山崎：それでは、お時間となりましたので、これより、株式会社ツルハホールディングス、2021年5月期第1四半期決算説明会を開催させていただきます。

本日の出席者をご紹介します。執行役員管理本部長の村上誠でございます。

村上：村上です。今日はよろしくお願いいたします。

山崎：私、経理部 IR グループリーダーの山崎拓也でございます。本日の司会進行も併せて担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

本日の説明会では、決算説明会資料を画面共有しながらご説明させていただきます。また、当社ホームページに決算説明会資料、決算補足資料、決算短信を掲載しておりますので、併せてご覧ください。

本日の進行ですが、初めに山崎より業績概要について、続いて、村上より当期の取り組みと方針についてご説明申し上げます。その後、質疑応答に移らせていただきます。

それでは、これより決算説明へ移らせていただきます。よろしくお願いいたします。

初めに、業績概要について山崎からご説明申し上げます。資料の1ページ目、目次のページに記載のとおり、第1四半期の損益については、JR九州ドラッグイレブン株式会社の数値を含んでおりませんので、ご了承ください。

### 決算ハイライト

2021年5月期 第1四半期決算説明会資料  
株式会社ツルハホールディングス

## 増収増益を維持

2021年5月期第1四半期

売上高

**2,246** 億円 (前年比+7.6%)

営業利益高

**151** 億円 (前年比+20.1%)

#### 事業概況

- ・新型コロナウイルス関連需要の継続 (日用雑貨、食品等)
- ・インバウンド需要の消失、季節商品の不振
- ・人件費を中心に販管費の伸び抑制

#### トピックス

- ・JR九州ドラッグイレブンの業務統合推進
- ・デジタルマーケティングの展開とアプリの拡大
- ・精肉・青果の導入拡大

Copyright TSURUHA HOLDINGS INC.

3

3 ページをご覧ください。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



2021年5月期第1四半期は、売上高が前年比7.6%増の2,246億円、営業利益高は前年比20.1%増の151億円となりました。インバウンド需要の消失、季節商品の不振などのマイナス要因があったものの、新型コロナウイルス関連の需要増が前期末以降継続しており、売上を大きく押し上げた結果となりました。販管費につきましても、よくコントロールできていたと認識しております。

また、主なトピックスについて、下のほうに記載のとおりでございます。後半で村上からご説明をさせていただきます。

## 2021年5月期 第1四半期連結業績（前期比）

2021年5月期 第1四半期決算説明会資料  
株式会社ツルハホールディングス

### 第1四半期実績

(百万円 / %)

	前年同期実績		当期実績		
	金額	構成比	金額	構成比	前年比
売上高	208,805	100.0	224,623	100.0	107.6
売上総利益	59,820	28.6	65,076	29.0	108.8
販売費・一般管理費	47,197	22.6	49,913	22.2	105.8
営業利益	12,623	6.0	15,162	6.8	120.1
経常利益	12,868	6.2	15,328	6.8	119.1
親会社持分に帰属する 過剰剰余金	8,727	4.2	9,137	4.1	104.7

#### 売上高

- ・既存店前年比 +5.2%
- ・新型コロナウイルス関連商品の需要増が続き想定を上回る進捗

#### 売上総利益

- ・日用雑貨・医療用品を中心に各商品部門の粗利率向上

#### 販売費・一般管理費

- ・人件費のコントロール等が奏功し販管費率は0.4ポイント改善

Copyright TSURUHAWA HOLDINGS INC.

4

4ページをご覧ください。当第1四半期の連結業績につきましては、詳細は表のとおりです。

既存店売上高は通期の前提をプラス0.3、上期の前提をプラス0.4、これはいずれも予算策定時点で新型コロナウイルス感染拡大の先行きが不透明であったことから、関連商品の需要増を織り込んでおりませんでした。実際には需要増が続いており、想定を上回る進捗となっています。また、売上総利益、販管費については、別のページで後ほどご説明させていただきます。

#### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



地域別状況

	2020年		2021年1-5月			2021年1-5月 対前年増減
	店舗数	増減	増減	増減	増減	
北海道	404	2	5	△3	401	
東北	506	8	1	+7	513	
関東甲信越	473	7	3	+4	477	
中部・関西	233	3	5	△2	231	
中国	300	3	-	+3	303	
四国	211	5	5	0	211	
九州・沖縄	23	-	3	△3	20	
国内計	2,150	28	22	+6	2,156	
<small>(注)6月 FCS店舗 4店舗</small>						
海外(タイ国)	22	1	2	△1	21	

閉店店舗には、期首閉店のインバウンド店9店舗を含む

事業会社別状況

	2020年		2021年1-5月			2021年1-5月 対前年増減
	店舗数	増減	増減	増減	増減	
ツルハ	1,253	15	15	0	1,253	
くずりの權太郎	230	5	1	+4	234	
T G N	286	3	3	0	286	
レディ薬局	228	3	3	0	228	
杏林堂薬局	84	2	-	+2	86	
B & D	68	-	-	0	68	
TGMD (EC本部)	1	-	-	0	1	
国内計	2,150	28	22	+6	2,156	

JR九州ドラッグイレブンの状況

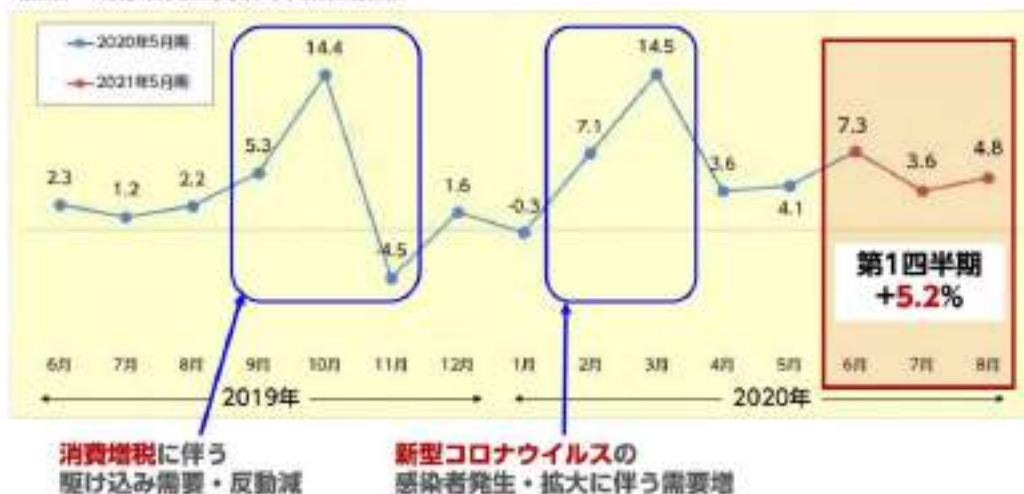
当第1四半期末 203店舗  
5月28日付子会社化206店舗  
期中 開店1 (東京)・閉店4 (九州)

続いて、5 ページ目、出店と閉店の状況です。

JR九州ドラッグイレブンを除いた店舗数が表のとおり、2,156 店舗。ドラッグイレブンが 203 店舗ございますので、含めると 2,359 店舗となります。なお、イレブンを除いた閉店数 22 店舗、この中には、前回説明会でお伝えしたインバウンド店舗 9 店舗の閉店が含まれております。5 月 15 日が最終営業日となりますので、5 月 16 日付で閉店という扱いになっております。

既存店売上高(13か月経過店舗) 月次推移

連結 既存店売上高前年同期比推移



続いて、6 ページ、既存店売上高の 15 カ月間の推移をグラフで示しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



昨年10月の消費増税、今年初めの新型コロナウイルスと特殊要因が続いておりました。当第1四半期は、大きな増減はありませんでしたが、新型コロナウイルスの影響で高い水準で推移をいたしました。

## 既存店売上高（13か月経過店舗）詳細

2021年5月期 第1四半期決算説明会資料  
株式会社ツルハホールディングス



Copyright TORIHAMA HOLDINGS INC.

7

7 ページに詳細を記載しております。

客数は7月、8月と落ち着いておりましたが、巣ごもり需要などにより客単価が伸びている状況です。また、品単価と買上点数ですが、7月1日からレジ袋が有料化となりました。レジ袋の代金を商品売上で計上しておりますので、品単価の低下、買上点数の増加が数字上では見られております。客単価への影響は軽微であります。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 地域・会社別売上概況

2021年5月期 第1四半期決算説明会資料  
株式会社ツルハホールディングス

### 地域別売上高

	前年比売上高前年同期比 (%)			
	2021年 5月期 1Q	2020年 5月期 1Q	2020年 5月期 2Q	2021年 5月期 1Q
北海道	18.3	101.7	103.8	105.1
東北	20.8	101.8	104.3	106.1
関東甲信越	17.5	100.7	104.0	103.7
中部・関西	18.8	96.9	101.3	101.0
中国	15.4	102.6	107.1	110.5
四国	8.4	101.7	104.2	106.5
九州	0.8	106.6	123.6	111.5
合計	100.0	101.5	104.2	105.2

・中部・関西を中心に  
インバウンド需要減の影響

### 会社別売上高

	前年比売上高前年同期比 (%)		
	2019年 5月期 1Q	2020年 5月期 1Q	2021年 5月期 1Q
ツルハ	101.5	103.0	104.1
くすりの福太郎	99.2	103.1	99.2
T G N	102.3	108.2	110.2
レデイ薬局	102.7	104.3	107.9
杏林堂薬局		104.8	106.3
B & D			106.2
合計	101.5	104.2	105.2

・都心部・繁華街店舗の不振（くすりの福太郎）  
・販促施策の変更が奏功（TGN、レデイ薬局）  
密を招く大型チラシ販促に代わり  
一定期間にわたるクーポン施策等の実施

Copyright TSURUHA HOLDINGS INC.

8

8 ページ、地域別・会社別の売上概況となります。

地域別で見ますと、中部・関西、こちらは主にツルハの中部・関西地区の店舗で、インバウンド需要の減少が大きく影響をしております。また、会社別では、都心部やオフィス街立地の店舗が多いくすりの福太郎の既存店売上高では前年割れとなっております。また、TGN、レデイ薬局につきましては、例年この時期7月、8月に大きな販促施策があるんですが、今期は感染リスクを勘案し、例年より長い期間を取ってクーポン施策、ポイント施策というかたちで行いました。結果的に、売上高にはプラス影響となっております。

## 商品群別実績（連結）

2021年5月期 第1四半期決算説明会資料  
株式会社ツルハホールディングス

		(百万円 / %)				
		売上高		売上総利益率		
		前年比	構成比	前年比	前年比	
商品	医薬品	44,815	100.3	20.0	41.6	0.0
	調剤	21,090	102.8	9.4	37.5	+0.3
	O T C	23,724	98.2	10.6	45.3	0.0
	化粧品	32,450	86.6	14.4	33.8	+0.8
	日用雑貨	64,959	115.1	28.9	27.3	+1.7
	食品	53,032	112.3	23.6	14.9	-0.1
	その他	28,428	128.7	12.7	32.8	+1.8
	商品合計	223,685	107.6	99.6	28.9	+0.3
	合計	224,623	107.6	100.0	29.0	+0.4

※ 連結販売を抜く

### 医薬品

・インバウンド需要の減少  
・かぜ薬、ドリンク剤等の不振

### 化粧品

・制度品を中心に苦戦が続くが、  
特定ブランドが利益を支えた

(参考) 商品群「その他」の内訳 (百万円 / %)

	売上高		
	前年比	前年比	前年比
健康食品	8,062	102.3	3.6
医療用品・介護	15,021	180.5	6.8
育児用品	5,222	94.6	2.4

Copyright TSURUHA HOLDINGS INC.

9

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS  
Asia's Meetings, Globally

9 ページは、商品群別の実績となります。

商品群別では、新型コロナウイルスの影響で日用雑貨、また、その他の分類が売上、粗利率とも大きく伸長いたしました。その他の内訳であります医療用品には、マスク、それから手指の消毒剤。日用雑貨には、ウェットティッシュやハンドソープ、また手指の消毒剤の一部も含まれております。一方で、医薬品については、インバウンド需要の減少、かぜ薬、ドリンク剤の不振から、OTC 医薬品の売上高を取り出してみると前年割れというかたちになっております。化粧品も、引き続き制度品を中心に苦戦が続いておりますが、特定ブランドにつきましては、1桁マイナスでとどまっております。粗利率は上昇しております。全体の粗利率は0.4ポイント上昇となっております。

## 調剤部門実績

2021年5月期 第1四半期決算説明会資料  
株式会社ツルハホールディングス

(百万円 / %)

	前年同期実績	当期末実績	前年比
調剤部門 (百万円)	20,525	21,090	102.8
粗利率 (%)	37.2	37.5	+0.3
処方箋枚数 (千枚)	2,065	1,939	93.9
単価 (円)	9,936	10,875	109.5

- ・新型コロナウイルスの影響により引き続き**枚数減少・単価上昇**の傾向
- ・服薬指導などの**対人業務**を強化
- ・**後発医薬品**の使用推進

### 事業会社別 調剤店舗数

	前年同期末	当期末末	内訳	
			病院	専門
ツルハ	288	290	253	37
くすりの橋本館	96	99	40	59
T G N	92	94	74	20
レディ薬局	54	53	29	24
杏林堂薬局	67	67	54	13
B & D	18	20	14	6
国内計	615	623	454	159

(参考) 最近の処方箋枚数・単価・売上推移



Copyright Tsuruha Holdings Inc.

10

続いて、10 ページで調剤の詳細です。

右下にグラフを示しておりますが、3 月度以降、処方箋枚数の減少、単価の上昇といった傾向が続いておりました。8 月までにかけて、単価については徐々に上昇幅が小さく、落ち着いてきている状況です。処方箋枚数につきましては、曜日や祝日の影響で、若干月ごとの変動がありますが、マイナス幅自体は徐々にこちらも小さくなっている状況だと思われます。また、粗利率につきましては、プラス0.3ポイント、こちらは4月の改定の影響が比較的軽微であったこと、また後発医薬品の使用推進などで技術料の確保といった要因がございます。結果はプラス0.3ポイントとなっております。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



# プライベートブランド販売実績

2021年5月期 第1四半期決算説明会資料  
株式会社ツルハホールディングス

## PB区分別実績 (百万円 / %)

経理第1四半期発表のPB実績計上に誤りがありました。下表は修正後の数値で作成しております。

	売上高			売上構成比 = 前 前期比 / 商品売上		売上総利益率	
	前期	当期	前期比	実績	前年増減	実績	前年増減
くらしリズム	1,741	5,249	301.4	2.6	+1.7	46.6	△1.2
エムスワン・ マヂョマロン	6,628	4,678	70.6	2.3	△1.2	40.2	△4.2
小 計	8,370	9,927	118.6	4.9	+0.4	43.6	△1.5
専 売 品 ・ 企 業 限 定 品	5,838	5,653	96.8	2.8	△0.3	45.5	△1.0
合 計	14,208	15,581	109.7	7.7	+0.1	44.3	△1.4

	SKU数			
	くらしリズム シリーズ	エムスワン・ マヂョマロン	専売品・ 企業限定品	計
医 薬 品	66	68	652	786
食 品	37	104	375	516
医 療 用 品	137	137	129	403
育 児 用 品	2	7	15	24
化 粧 品	64	8	172	244
日 用 品	245	90	356	691
計	551	414	1,699	2,664

### 売上高

- ・新型コロナウイルス関連商品が伸長
- ・専売品・企業限定品は前年割れ  
(医薬品の売上減が影響)

### 粗利率

- ・マスクの粗利率低下 (原価高騰)
- ・医薬品の構成比低下
- ・ドリンク・日焼け止めなど  
主力の春夏商品の不振

### SKU数

- ・くらしリズム商品  
期首比 +49SKU

Copyright TRUHA HOLDINGS INC

11

11 ページ、プライベートブランド商品の実績です。

PB 全体では、売上高が 9.7%増、構成比は前年同期比プラス 0.1 ポイントとなっております。売上総利益率、粗利率につきましては、各 PB 区分でマイナスとなっております。ただ、粗利率は 44%、PB 全体でありますので、商品全体の粗利率には貢献しているものと認識しております。この粗利率の低下要因ですが、まず、PB 扱いのマスクの原価が、この直近で大変高騰しております。結果、粗利率が低下していることが一つです。また、医薬品、季節商品の不振も響いております。特に、専売品・企業限定品に含まれておりますドリンクのエゾエース、また、日焼け止めのオレゾホワイトといった商品が、重点品のようなかたちで非常に主力ですけれども、ここが季節要因で前年割れというかたちになっております。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



(百万円 / %)

		2019年		2020年		2021年	
		5月期 1Q	前年比	5月期 1Q	前年比	5月期 1Q	前年比
人件費	金額	21,518	127.7	24,157	112.3	25,570	105.8
	売上比	11.3	+0.5	11.6	+0.3	11.4	-0.2
販売促進費	金額	1,645	152.4	1,563	95.0	2,106	134.7
	売上比	0.9	+0.2	0.8	+0.1	0.9	+0.1
地代家賃等	金額	9,771	113.5	10,927	111.8	11,331	103.7
	売上比	5.1	+0.4	5.2	+0.1	5.0	-0.2
その他経費	金額	9,613	127.1	10,548	109.7	10,904	103.4
	売上比	5.0	+0.1	5.0	0.0	4.9	-0.1
販売費・	金額	42,549	124.8	47,197	110.9	49,913	105.8
一般管理費	売上比	22.3	+0.4	22.6	+0.3	22.2	-0.4

**人件費**

・労働時間の適正化、時間外手当の削減等により人件費率が改善

**販売促進費**

・ポイント引当金計上の影響  
(新型コロナウイルス対策による販促施策の変更に伴う一過性要因)

Copyright © TSURUHAWA HOLDINGS INC.

12

12 ページ、販管費の詳細となっております。

販管費率は 0.4 ポイント改善いたしました。22.2%で終了しております。四つ項目を挙げておりますけれども、この中で金額はさほど大きくないですが、販売促進費の伸びが大きくなっております。ここは主にポイント引当金に関する費用計上です。販促施策の変更等に伴いまして、8月15日時点、第1四半期末日時点の未使用ポイントの残高が一時的に大きくなっております。この影響が費用として出ております。今後、第2四半期以降、ポイントが使用されて消化されていくことにより解消される見込みで、ここは一過性の要因と考えております。

業績に関する説明は以上ですけれども、一つ補足です。決算補足資料等に記載しておりますバランスシートの概要につきまして、この第1四半期末の段階でドラッグイレブンの5月31日時点の残高を含んでおります。また、当社は15日締め、8月15日が第1四半期の末日になりますが、この日は土曜日でございます。金融機関の休業日の影響を受けている科目がいくつかございますので、この点、ご留意いただければと思います。

前半、私からは以上でございます。続いて、村上からご説明申し上げます。

**サポート**

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 2021年5月期計画（上期・下期）

2021年5月期 第1四半期決算説明会資料  
株式会社ツルハホールディングス

(百万円 / %)

	当期計画			上期計画			下期計画		
		構成比	前年比		構成比	前年比		構成比	前年比
売上高	860,000	100.0	102.3	424,400	100.0	101.9	435,600	100.0	102.6
売上総利益	252,800	29.4	103.5	123,750	29.2	103.5	129,050	29.6	103.5
販 売 費 用	207,600	24.1	104.2	102,200	24.1	106.6	105,400	24.2	101.9
営業利益	45,200	5.3	100.4	21,550	5.1	90.7	23,650	5.4	111.3
経常利益	46,484	5.4	100.4	22,193	5.2	90.8	24,291	5.6	111.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	27,000	3.1	96.8	13,480	3.2	86.7	13,520	3.1	109.5

### 当期計画の前提

- ・新型コロナ関連の需要は織り込んでいない
- ・インバウンド売上はゼロの前提
- ・ドラッグイレブンの連結影響は含まない
- ・既存店前提+0.3%（上期+0.4/下期+0.2）
- ・最終利益は、前期所得拡大税制適用により高いハードル（今期は対象外見込）

### 上期 前期差

- ・消費税に伴う駆け込み需要のハードル
- ・インバウンド実績6か月分が今期は剥落

### 下期 前期差

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要増
- ・特別感謝金支給（約30億円）

Copyright Tsuruha Holdings Inc.

14

村上：それでは、当期の取り組みと方針について、村上よりご説明させていただきます。次項の14ページをご覧ください。

まずは、数値ですが6月22日の決算説明会でご説明した今期の業績予測と変更のない内容でございますので、詳細は割愛させていただきます。下段の左側に記載しております、前提条件のうち、インバウンドは想定どおり、ほぼ売上ゼロの状況です。一方、新型コロナ関連については巣ごもり需要も含め堅調で、業績を押し上げる要因となりました。

## 2021年5月期 出店計画

2021年5月期 第1四半期決算説明会資料  
株式会社ツルハホールディングス

### 地域別出店計画（連結）

	2020年 5月期末	2021年5月期計画				期末店舗数
		出店	閉店	移替	期末店舗数	
北海道	404	21	11	10	414	
東北	506	29	3	26	532	
関東甲信越	473	35	7	28	501	
中部・関西	233	19	11	8	241	
中国	300	14	3	11	311	
四国	211	10	8	2	213	
九州	23	2	4	△2	21	
国内計	2,150	130	47	83	2,233	

### 会社別出店計画（連結）

	2020年 5月期末	2021年5月期計画				期末店舗数
		出店	閉店	移替	期末店舗数	
ツルハ	1,253	84	27	57	1,310	
くすりの権太郎	230	15	5	10	240	
T G N	286	15	6	9	295	
レディ薬局	228	8	7	1	229	
杏林堂薬局	84	5	1	4	88	
B & D	68	3	1	2	70	
TGMD (EC本部)	1	-	-	0	1	
国内計	2,150	130	47	83	2,233	

Copyright Tsuruha Holdings Inc.

15

次に、出店についてでございます。15ページをご覧ください。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com





出店についても、計画の変更はございません。よって、詳細の説明は割愛させていただきます。なお、期末の予測店舗数は、2,233店舗を想定しておりますが、先ほど山崎からも説明がありましたけども、ドラッグイレブンさんが加わりますので、その店舗数203店舗を加えると2,436店舗となる予定でございます。

## 2021年5月期目標と主な取り組み

2021年5月期 第1四半期決算説明会資料  
株式会社ツルハホールディングス

# 2021年5月期 計画

売上高 **8,600** 億円 営業利益高 **452** 億円 期末店舗数 **2,233** 店舗  
※ J R九州ドラッグイレブン(株)を含みません

- J R九州ドラッグイレブンの子会社化
- プライベートブランド「くらしリズム」の展開
- スマートフォンアプリの活用・デジタル推進
- システム導入による人員配置の適正化
- 精肉・青果の委託販売取扱い拡大

Copyright TSURUHAWA HOLDINGS INC.

16

次ページをお願いいたします。今期、五つの取り組みを記載のとおり掲げさせていただいております。それぞれについて進捗状況をご説明いたします。

## J R九州ドラッグイレブン(株)の子会社化

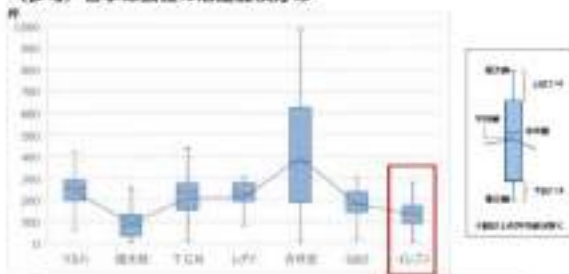
2021年5月期 第1四半期決算説明会資料  
株式会社ツルハホールディングス

# 統合シナジーの最大化と収益性向上 スケールメリットを生かした共同仕入・コスト低減

管理部門を中心に各部署の**業務統合**を推進  
不採算店舗の閉店・スクラップ&ビルド等により  
**既存店の強化**を図る



(参考) 各事業会社の店舗面積分布



100~200坪が中心・郊外店も比較的コンパクト

(参考) 各事業会社の商品別売上構成比比較 ※イレブンは想定



OTC率・化粧品構成比が高く、食品は少ない

Copyright TSURUHAWA HOLDINGS INC.

17

まずは、ドラッグイレブンの子会社化についてです。17ページをご覧ください。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com





5月28日付でグループ入りしたドラッグイレブンですが、早期にシナジーを発揮するため、実務レベルで統合作業を進めております。

具体的には、今週9月16日より共同仕入をスタートさせる予定で、これにより一定のコスト低減が図れると考えております。その他、調剤部門、店舗開発部門、システム部門、管理部門でもロードマップを作成し、PMIを進めております。

下段の表では、イレブンの店舗面積と商品構成を記載しております。他事業会社との比較ですので参考にしていただければと思います。

## スマートフォンアプリの活用・デジタル推進

2021年5月期 第1四半期決算説明会資料  
株式会社ツルハホールディングス

### デジタルマーケティング推進への基盤づくり お客様に最適な生活スタイル・商品の提案を 実現する1to1マーケティングの強化



Copyright © TSURUHA HOLDINGS INC.

18

次ページ、お願いいたします。次に、スマートフォンアプリの活用とデジタル推進です。

その要となる自社アプリのダウンロードを現在精力的に推進しております。今期末の目標として、現在、当社のアクティブ会員様、約1,100万人のうち400万人の会員様にアプリをダウンロードしていただく目標を掲げさせていただいております。現時点で、約130万人の会員様にダウンロードをしていただいております。ほぼ計画どおりに進捗しております。このまま何とか期末に400万人という目標を達成したいと思っております。

まずは、このアプリのダウンロードという、お客様との接点となるこのアプリを活用できる状況を早急につくることが先決でございますが、並行して個々のお客様のニーズに合った精度の高いマーケティングを実現できる体制を構築していきたいと思っております。次年度以降、成果が出るように取り組みを推進しているところです。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 精肉・青果の 取扱い店舗拡大

委託販売による展開  
当四半期末 **452店**  
(前期末比 **+92店**)  
21年5月期末  
**630店**に展開予定

店舗の作業負担がない委託販売で  
新しい品種を導入し来店頻度向上



## くらしリズムの 展開拡大

21年5月期目標  
・当期末までに**197SKU**追加  
(期末700SKUへ)  
→1Q末時点**49SKU**増  
・くらしリズム+エムズワン  
合算売上高目標**400億円**  
→1Q売上高**99.2億円**

エムズワンからくらしリズムへの  
リニューアルと新規商品の開発により  
SKU数の更なる拡大を図る

## シフト作成 支援システム

店舗作業量に応じた必要人員の  
可視化(ツルハOTC店に導入)

新型コロナウイルスの状況を  
みながら推進中  
・導入済み店舗への**勉強会開催**  
・ツルハ**調剤**全店への導入  
(9/16~)  
・一部**事業会社**への期中導入に  
向け調整

パートタイマーの労働時間管理など  
により、**人件費抑制に一定の効果**

19 ページをお願いいたします。精肉・青果の取扱いについてです。

精肉・青果の取扱い店舗を拡大しております。資料のとおり、前期末で360店舗でしたが、第1四半期で92店舗追加し、452店舗の展開となりました。今期末には630店舗の展開を目標としております。

コロナの影響もありまして、より消費者、お客様のワンストップショッピングへのニーズの高まりがありまして、導入店舗では売上伸長に寄与をしているところでございます。

次に、当社のプライベートブランドである、くらしリズムの展開の拡大についてでございます。ご覧のとおり、ほぼ計画どおりにSKU数を追加。また、旧ブランドであるエムズワンとの入れ替えを実施しております。今後も、お客様にご満足いただける商品開発の強化を推進してまいります。

最後に、人件費の適正化の仕組みとして導入している、シフト作成支援システムの進捗状況でございます。現状は、株式会社ツルハのOTC店舗の全店にシステムを導入済みであり、現在、勉強会の実施や現場の意見を聞きながら運用の最適化を行っているところです。残業代の適正化や、パートタイマーの労働時間管理など、一定の成果が出始めております。なお、9月16日、今週より同じく株式会社ツルハの調剤店舗にも導入を開始する予定で、今期末には他事業会社への展開も図っていきたいと考えております。

次ページは、中計の目標ですが、これについても変更はありませんので、割愛させていただきます。

## 当社の事業とSDGs

## ツルハグループ経営理念

お客様の生活に豊かさとお幸せを提供しよう。  
日本が誇るツルハグループになる。  
「ツルハグループこそ最高のドラッグストアだ」  
「また来よう、みんなに教えてあげよう。」  
お客様にこう言ってもらえるドラッグストアになろう。  
また来よう、みんなに教えてあげよう。  
「あのドラッグストアはすばらしい」  
「あのドラッグストアにしたい」  
と自信と誇りをもって推薦してもらえる  
ドラッグストアになろう。  
そうなることが、高い生産性と高収益を生み出し、  
お客様と従業員一人一人の生活のしあわせと、  
豊かさと、未来を保障し、社会へ貢献できる  
ただ一つの道である。

地域の生活を守るライフ  
ラインとして、健康な暮  
らしをお手伝いすると  
ともに、雇用や経済活動の  
場を提供し、社会に貢献  
する



## 個別の取り組み

排出CO<sub>2</sub>削減への取り組み

照明・空調の省エネ化  
J-クレジット制度を通じた削減枠取引



## レジ袋有料化

バイオマス配合袋への切り替え  
お客様へのマイバック利用促進  
レジ袋の収益を全額寄付



## 食品ロス削減への実証実験参加

「No Food Loss」アプリ  
・期限切れ品等の割引クーポン配信  
・アプリを通じた売上の一部は  
開発途上国への学校給食寄付へ



次ページをお願いいたします。最後に、SDGs に対する取り組みです。

トピックスとして、資料の右側の中段に記載しておりますレジ袋の有料化です。レジ袋の有料化についてはご既承のとおり、本年7月1日から開始されておりますけども、当社としても、このレジ袋の有料化によって出てきた収益の全額を寄付させていただくこととしております。寄付先としては、ユニセフおよび日本赤十字社を想定しております。

以上で、ご説明を終わらせていただきます。ご清聴、ありがとうございました。



## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

